

目標達成計画

作成日: 平成 23 年 5 月 2 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	27	日々のケア記録をつけているが、書く視点やポイントがずれていて、より具体的なケアプラン・モニタリングにつなげていける材料として十分活用できていない。	より具体的にご利用者の方の思いにそった支援を行うために活用できるケア記録の内容にかえていく。	日々のケアの中にご利用者との関わり方・見る視点を改めて見直し意識をして、感情や思いが感じられる言葉や様子を具体的に残すようにしていく。	12ヶ月
2	26	アセスメントが不十分であり、ご利用者の方のQOLの部分について、より深くふみこんだケアプランが作成できておらず、十分な支援につなげていない。	日々のケアの中で発せられた言葉や思いにつながる行動一つ一つを大切にアセスメントして、ご利用者一人一人の思いをくみ取り、より具体的な支援へとつなげていく。	ケア記録の中からご利用者の方の思いにつながるものを拾い出し図式化する事で、職員間で情報を共有でき、その方をより深く知る手がかりとして活用して、楽しみのある・生きがいのある支援へつなげていけるようにしていく。	12ヶ月
3	27	日常生活の中で意識して細かな観察が十分に出来ておらず、見落とししている部分が多い。	スタッフ一人一人が努力して多方面からのものの見方ができ、感性を磨きながら、ご利用者の方のささいな表情・変化等にも気付けるようになる。	ケア記録にスタッフが感じた事柄についても記載する中で、スタッフ一人一人考え方・感じ方が違うため、それを読みお互いの思い・感じ方について話しをする中で、考え方の広がり・柔軟性を磨いていけるようにしていく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。